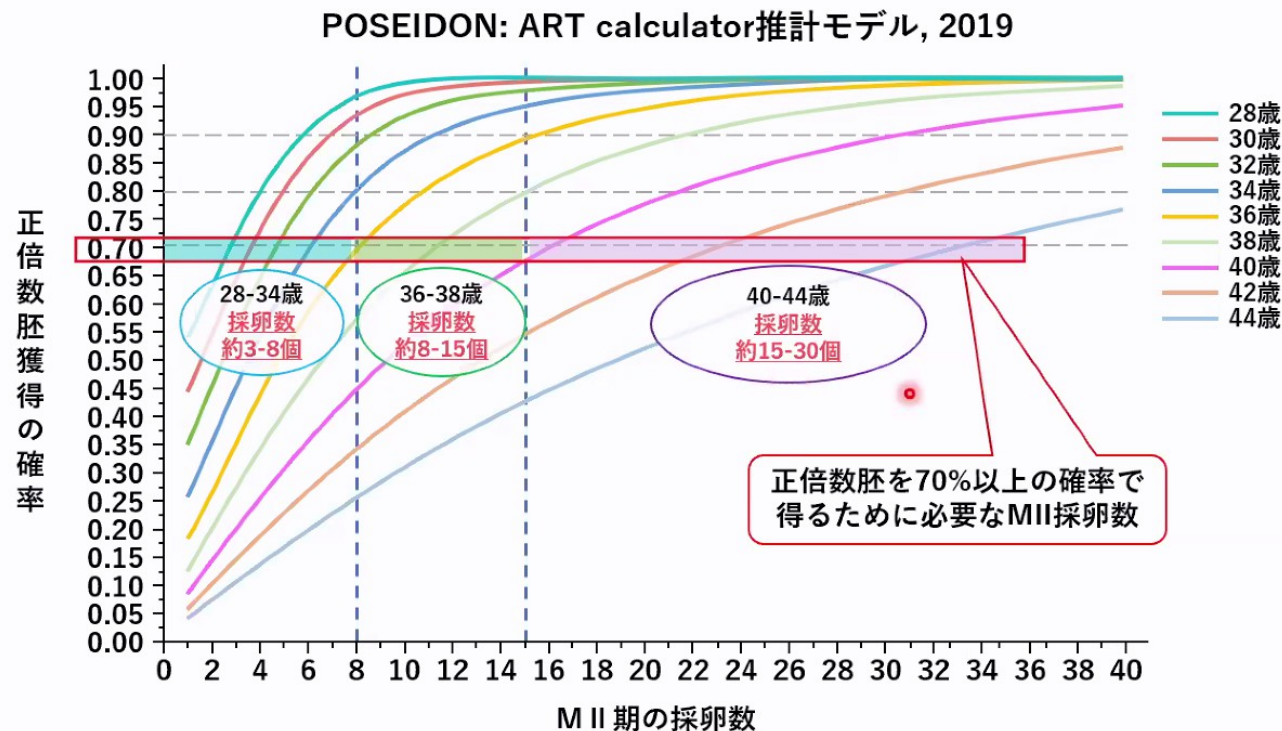


少なくとも1個の正倍数胚を得るために必要なMII卵子数【海外データ】



対象：2016年2月から2017年6月に、ブラジルの不妊治療センターで、着床前胚染色体異常性検査のために栄養外胚葉生検を予定してIVF/ICSIを受けた不妊症のカップル347組。
 方法：正倍数胚のモデル化には負の二項分布を用い、変数選択にはadaptive LASSO法を用いた。適合患者は、女性の年齢、ICSIに用いる精子およびMII期卵子数を予測因子として選択した。
 Esteves SC, et al. : Front Endocrinol(Lausanne). 2019 : 10 : 99.より改変